

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.4</b>
<b>Q1 室内環境</b>								<b>4.0</b>
<b>1 音環境</b>				<b>4.0</b>	0.15	<b>3.4</b>	1.00	3.4
1.1 騒音				3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音				<b>5.0</b>	0.50	<b>3.8</b>	0.50	
1 開口部遮音性能		T-2仕様のサッシ仕様		5.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能				3.0	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		遮音等級Lr-45		3.0	-	4.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音				3.0	-	3.0	-	
<b>2 温熱環境</b>				<b>1.6</b>	0.35	<b>5.0</b>	1.00	4.4
2.1 室温制御				<b>2.2</b>	0.50	<b>5.0</b>	1.00	
1 室温				3.0	0.63	-	-	
2 外皮性能		省エネ基準・住宅性能評価基準より断熱性能は等級4		1.0	0.38	5.0	1.00	
3 ゾーン別制御性				3.0	-	-	-	
2.2 湿度制御				<b>1.0</b>	0.20	-	-	
2.3 空調方式				<b>1.0</b>	0.30	-	-	
<b>3 光・視環境</b>				<b>2.6</b>	0.25	<b>4.0</b>	1.00	3.7
3.1 昼光利用				<b>1.8</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.50	
1 昼光率		各住戸とも最大居室(LD)に大きな開口設置 昼光率3.00%		1.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口				-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		カーテンと庇によるグレアの抑制		<b>3.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.50	
1 昼光制御		カーテン及び庇を設置		3.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度				<b>3.0</b>	0.15	-	-	
3.4 照明制御				<b>3.0</b>	0.25	-	-	
<b>4 空気質環境</b>				<b>4.2</b>	0.25	<b>4.2</b>	1.00	4.2
4.1 発生源対策				<b>5.0</b>	0.60	<b>5.0</b>	0.63	
1 化学汚染物質		JIS・JASの規格F 建材・VOCの放散量が少ない建材使用		5.0	1.00	5.0	1.00	
2 アスベスト対策				-	-	-	-	
4.2 換気				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.38	
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能				3.0	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理				-	-	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視				3.0	-	-	-	
2 喫煙の制御				3.0	-	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-	3.1
<b>1 機能性</b>				<b>3.4</b>	0.40	<b>3.2</b>	1.00	3.2
1.1 機能性・使いやすさ				<b>3.0</b>	0.40	<b>4.0</b>	0.60	
1 広さ・収納性				3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		100Mbitクラスブロードバンドが利用可能		3.0	-	4.0	1.00	
3 バリアフリー計画				3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性				<b>3.0</b>	0.30	<b>2.0</b>	0.40	
1 広さ感・景観				3.0	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース				3.0	-	-	-	
3 内装計画				3.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理				<b>4.5</b>	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		防汚性の高い建材を使用し、維持管理しやすい素材を使用		5.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		共用部から維持管理できるように配慮		4.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務				-	-	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>2.9</b>	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震				<b>3.0</b>	0.50	-	-	
1 耐震性				3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水:ポリエチレン管・塩ビライン管 銅管 排水:硬質塩ビ管・ライン管 鋼管 (基準B)		4.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性			2.8	0.20	-	-	
1 空調・換気設備			3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備			2.0	0.20	-	-	
3 電気設備			3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法			3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備			3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.2	0.30	3.1	1.00	3.1
3.1 空間のゆとり			-	-	3.2	0.50	
1 階高のゆとり	H=2960～3060で各階設計		3.0	-	4.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			3.0	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.2	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性	躯体内・間仕切り内はCD管による配線		5.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	地上部植栽の他に建物屋上部に適度な植栽を設けた(底等の面積)		4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.8
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.3
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネ基準・住宅性能評価基準より断熱性能は等級4		5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	BEI 非住宅 1.00 住宅(専有部) 0.91		4.9	0.50	-	-	4.9
集合住宅以外の評価(3a.3b)			1.0	-	-	-	
集合住宅の評価(3c)	潜熱回収タイプの給湯設備使用		4.9	1.00	-	-	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.6
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水	節水型給水線・節水コマ・節水型便器使用		4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	1.00	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.9	0.60	-	-	3.9
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	床:パーテックボード、外構:集水樹・道路境界ブロック		5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	針葉樹・間伐材を使用した建材の使用(建物全体の木材使用量の10%)		4.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	内装仕上材と躯体・設備の分別が容易な施工(GL工法・LGS工法)		5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2の排出率81%		3.7	0.33	-	-	3.7
2 地域環境への配慮			3.6	0.33	-	-	3.6
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善	地表面対策面積率は45%以上		4.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	自転車置場・駐車スペースの確保、車両出入口位置の配慮		5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵・日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	